

山梨県文学館協議会資料

令和2年2月20日(木)

山梨県立文学館

目次	ページ
<u>山梨県文学館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県文学館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立文学館活動報告(概要)</u>	6
<u>30周年記念事業</u>	7
<u>施設利用状況</u>	8
<u>観覧者数の推移</u>	9
<u>令和元年、2年度展覧会の状況</u>	11
<u>教育普及事業について</u>	13
<u>資料情報課事業一覧</u>	18
<u>指定管理者活動報告</u>	21

山梨県文学館協議会

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	おざわ けん 小澤 建二	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (北杜市教育委員会教育委員、連合会会長)
"	まつもと けいこ 松本 恵子	県社会教育団体代表	社会教育関係 (山梨県社会教育委員、NPO法人河原部社理事)
"	なかじま としお 中島 利夫	山梨文芸協会事務局長	学識経験者(山梨文芸協会事務局次長)
"	すぎはら かつひこ 杉原 克彦	報道関係	学識経験者(山梨日日新聞社 論説委員長)
"	みずいし かずひと 水石 和仁	報道関係	学識経験者(テレビ山梨報道制作局長)
"	たなか まさお 田中 昌央	報道関係	学識経験者(NHK甲府放送局副局長)
"	はせがわ ちあき 長谷川 千秋	山梨大学教授	学識経験者
"	ふるかわ ゆか 古川 裕佳	都留文科大学教授	学識経験者
"	ひろせ たかよし 廣瀬 孝嘉	元山梨県教育長	学識経験者
"	でざわ ただとし 出澤 忠利	印傳博物館 運営委員	学識経験者
"	やまき よしお 八巻 與志夫	釈迦堂遺跡博物館 副館長	学識経験者
"	みぞぐち ともえ 溝口 登茂恵	公募委員	家庭教育関係者
"	いち せ はるみ 一ノ瀬 春美	公募委員	家庭教育関係者
任命	ひぐち かなこ 樋口 歌奈子	県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (笛吹市立御坂東小学校長)
"	はだ たかゆき 羽田 孝行	県高等学校長協会代表	学校教育関係 (富士北陵高校長)

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

（会長等）

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	15人以内	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年
山梨県文学館協議会	博物館法第二十条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務			

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋） 山梨県教育委員会規則第十一号
（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ推進審議会	過半数

（意見の陳述）

第九条 関係職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年二回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校改革・特別支援教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校改革・特別支援教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ推進審議会	スポーツ健康課

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

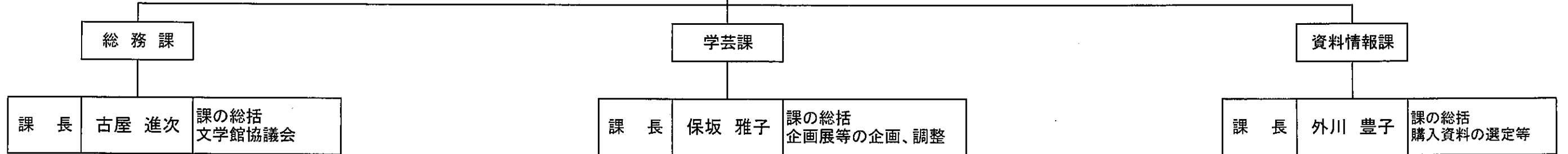
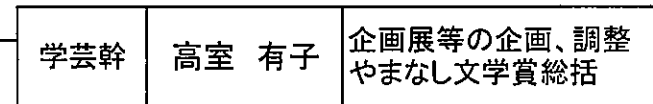
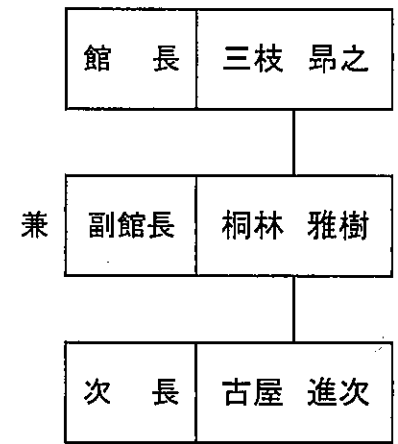
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

文学館組織図

令和元年10月1日現在

所属名	県立文学館		
正規職員	非常勤嘱託	臨時職員	合計
11	9	1	21
(兼3)	(兼1)		(兼4)

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務



兼

職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主査	進藤 真行	担当の総括 予算管理
兼 主事	高山 慎之介	会計・経理 旅費・福利
兼 非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会
非常勤 嘱託	田島 保好	業務補助

学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	中野 和子	担当の総括 企画展・常設展の実施 特殊資料の整理公開
学芸員	伊藤 夏穂	企画展・常設展の実施 特殊資料の整理公開
臨時職員	雨宮 弘志	企画展・常設展の実施 特殊資料の整理公開
非常勤 嘱託	酒井 研一	ボランティアの育成・ 指導等
非常勤 嘱託	佐藤 明子	特殊資料の整理公開
非常勤 嘱託	松井 あすか	業務補助

教育普及担当

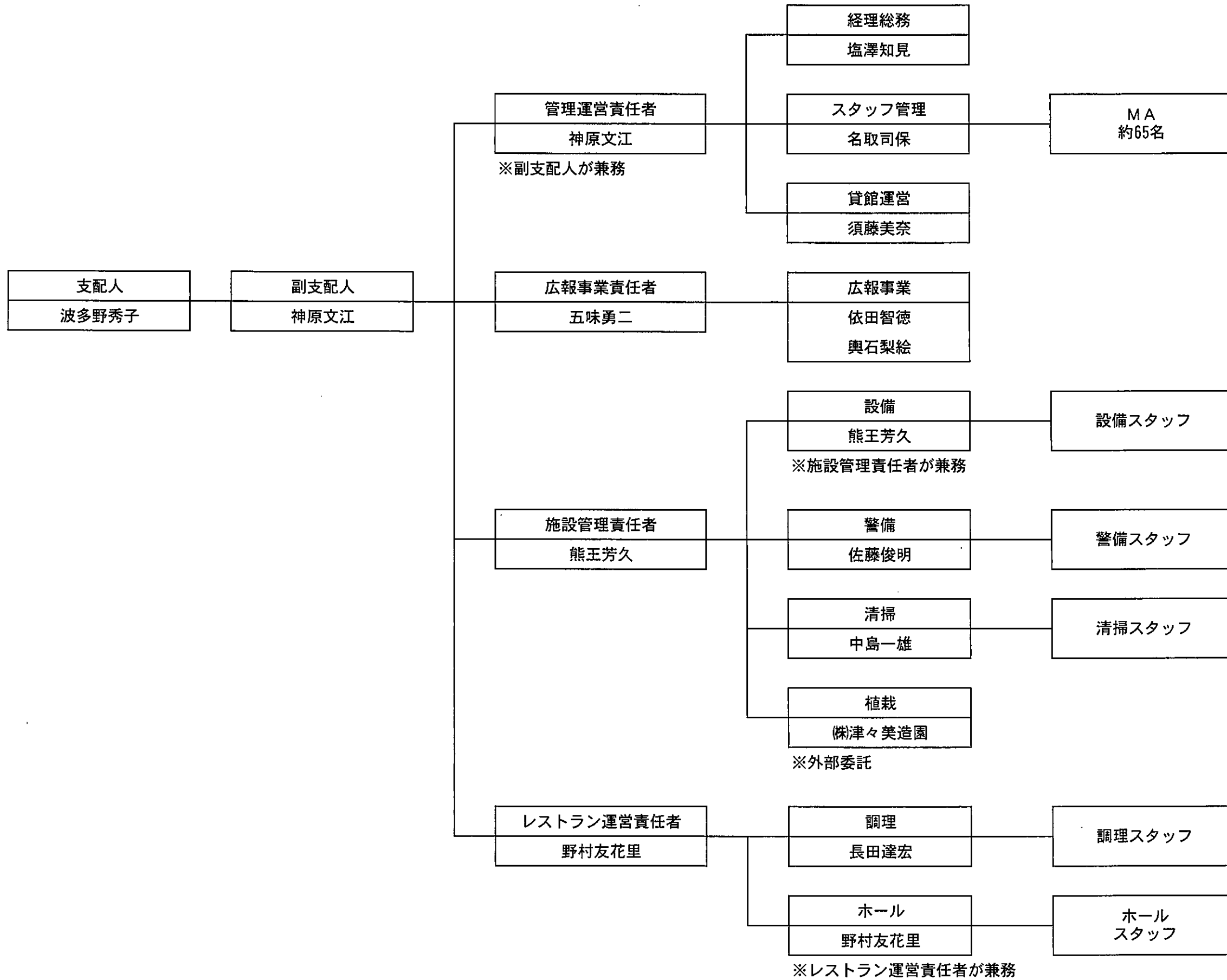
職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主幹・ 教育主事	小林 康人	担当の総括 学校教育・生涯学習機 関との連携
副主幹・ 教育主事	小林 伸一郎	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学講座
主査・ 教育主事	柳川 由美子	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学講座

文学館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	千国 ちふみ	協力会業務

職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主幹	小林 幸代	担当の総括 図書、逐次刊行物の 評価・公開
副主査	中島 桂子	文献検索システム、情 報ネットワーク・イント ラ事業、HP更新
非常勤 嘱託	土屋 育正	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	瀧田 夏希	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	内藤 るか	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	白倉 美紀子	資料等の整理 閲覧室カウンター業務

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務



山梨県立文学館活動報告と予定（概要）

本館に求められるもの

県民の価値観の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報／収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品（資料）を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力／たのしむ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

○ 令和元年度の活動（開館30周年を迎え、記念事業を行い、文学館の新たな魅力発信をした。）

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年4回展示替えに加え、開館30周年記念「近代文学の名作」として期間限定公開コーナーを設置

春：樋口一葉「たけくべ」「にごりえ」 夏：芥川龍之介「或る阿呆の一生」

秋：山本周五郎「青べか物語」「おごそかな湯き」 冬：深沢七郎「檜山節考」「笛吹川」

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介（朗読コーナー）

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室

第5室 前期（9月まで）小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡

後期（3月まで）詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の特設展〉開館30周年記念「生誕110年 太宰治展—作家をめぐる物語—」4月～6月

〈夏の特設展〉開館30周年記念「山と水の文学」7月～8月

〈秋の企画展〉開館30周年記念「宮沢賢治展 ようこそイーハトーブの世界へ」9～11月

〈新収蔵品展〉「作家のエピソード」1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・ワークショップ・特設展、企画展の関連事業・チャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・展示解説・講師派遣・移動文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会（協力会）

〈第28回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門を実施。2月28日選考結果発表、2月15日表彰式

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供として

○閲覧室資料紹介＝太宰治を読む・山と水に遊ぶ・宮沢賢治の世界・探偵小説の時代

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介＝飯田蛇笏・徳永寿美子・八木義徳・石原八束・檀一雄・芥川龍之介

○書庫見学 6/8（土） 11/20（水・県民の日） 午前・午後各1回

○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施（毎週日曜日）。

芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

〈共催事業〉第5回碑前祭（山廬文化振興会と共催）夏井いつき氏の講演・句会

【30周年記念事業】 別紙

令和2年度の活動（予定）

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年4回の展示替えに加え「山梨の文学碑」を共通テーマに期間限定公開のコーナーを設置

春：山崎方代 甲府市右左口町「ふるさとの右左口邸は」碑

夏：芥川龍之介 北杜市清光寺「藤の花」碑

秋：前田晁 山梨市「一人の心は」碑

冬：窪田空穂 山梨市「兄かはに並ぶ弟川」碑

第1室～第4室 2019年度と同様、年4回一部資料の入れ替えを行う。

第5室 2019年度と同様、年2回、前後期に資料の入れ替えを行う。

〈春の特設展〉飯田龍太展 生誕100年 4月～6月

〈夏の特設展〉文学の中の富士山 7月～8月

〈秋の企画展〉林真理子展 9～11月

〈新収蔵品展〉1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・ワークショップ・特設展、企画展の関連事業・チャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・展示解説・講師派遣・移動文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会（協力会）

〈第29回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門を実施。

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供として

○閲覧室資料紹介＝飯田龍太の世界・富士北麓をめぐる文学・林真理子を読む・文学に描かれた天災

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

土橋治重・太田黒克彦・望月百合子・竹内てるよ・武田泰淳・深田久弥

○書庫見学 6/6（土） 11/20（金・県民の日） 午前・午後各1回

○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施（毎週日曜日）。

芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

〈共催事業〉第6回碑前祭（山廬文化振興会と共催）

文学館30周年事業の展開

30周年を契機として、文学を通じ山梨の文化を県内外へ発信していくとともに、文学館のさらなるイメージアップをはかりアピールしていく。

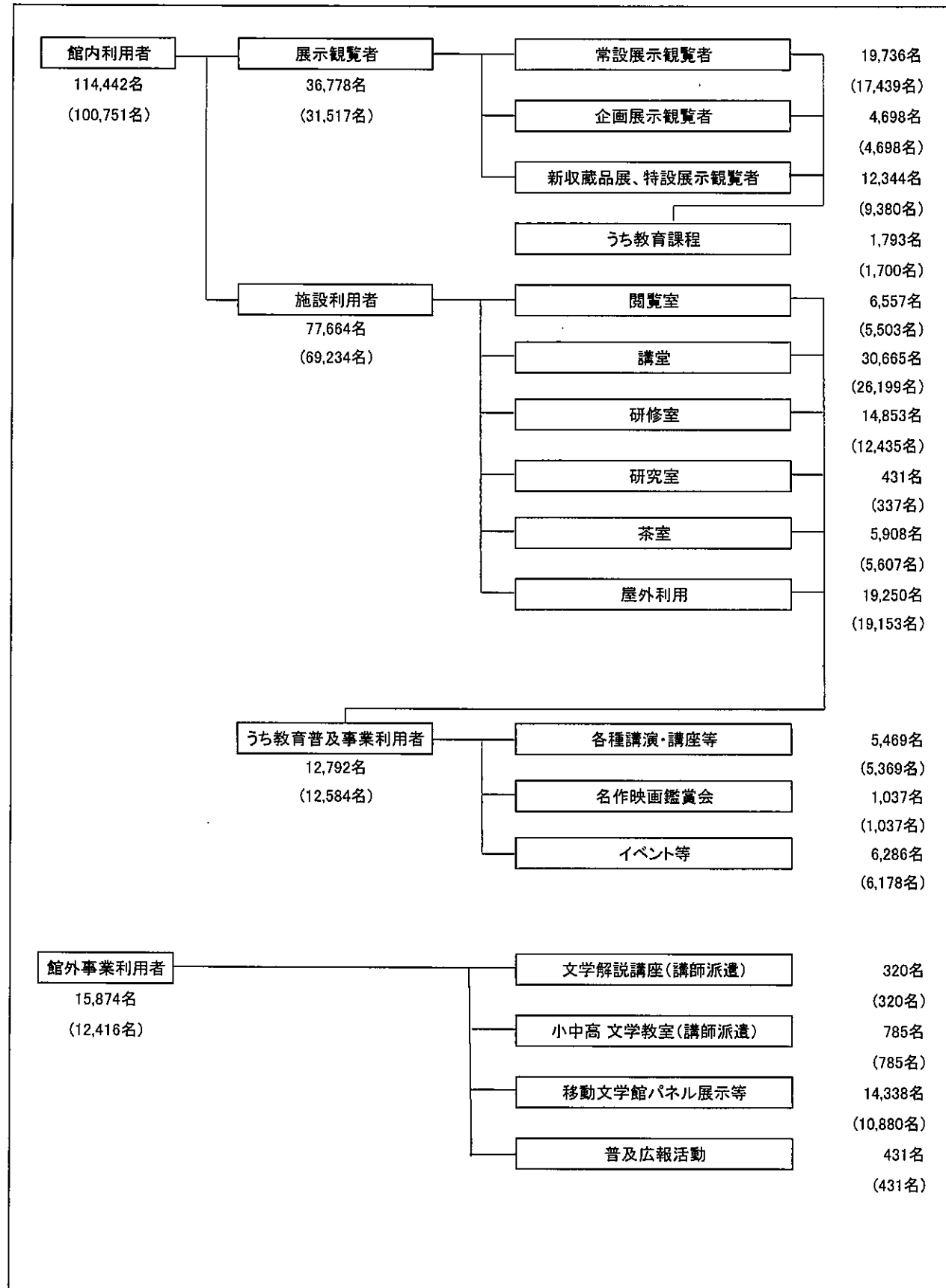
開館30周年を迎える2019年の事業の展開 — 充実と強化 —

- ① 美術館館長・文学館館長による「スペシャル館長トーク」 3月2日(土)
- ② 文学館の存在を内外へPR キャッチコピー「そのことばのつづきへ」発表 4月27日(土)
- ③ 「そのことばのつづきへ」募集 4月27日(土)～8月31日(土)
- ④ 30周年記念式典 9月20日(金)
- ⑤ 30周年記念文学講演会 11月10日(日) 講師 林真理子氏「小説の力を信じて」
- ⑥ 30周年記念展示の展開
 - ・ 新収蔵品展「手書きのリズム」 1～3月
 - ・ 特設展「太宰治展 生誕110年 —作家をめぐる物語」 4～5月
 - ・ 特設展「山と水の文学」 7～8月
 - ・ 企画展「宮沢賢治展 ようこそイーハトーブの世界へ」 9～11月

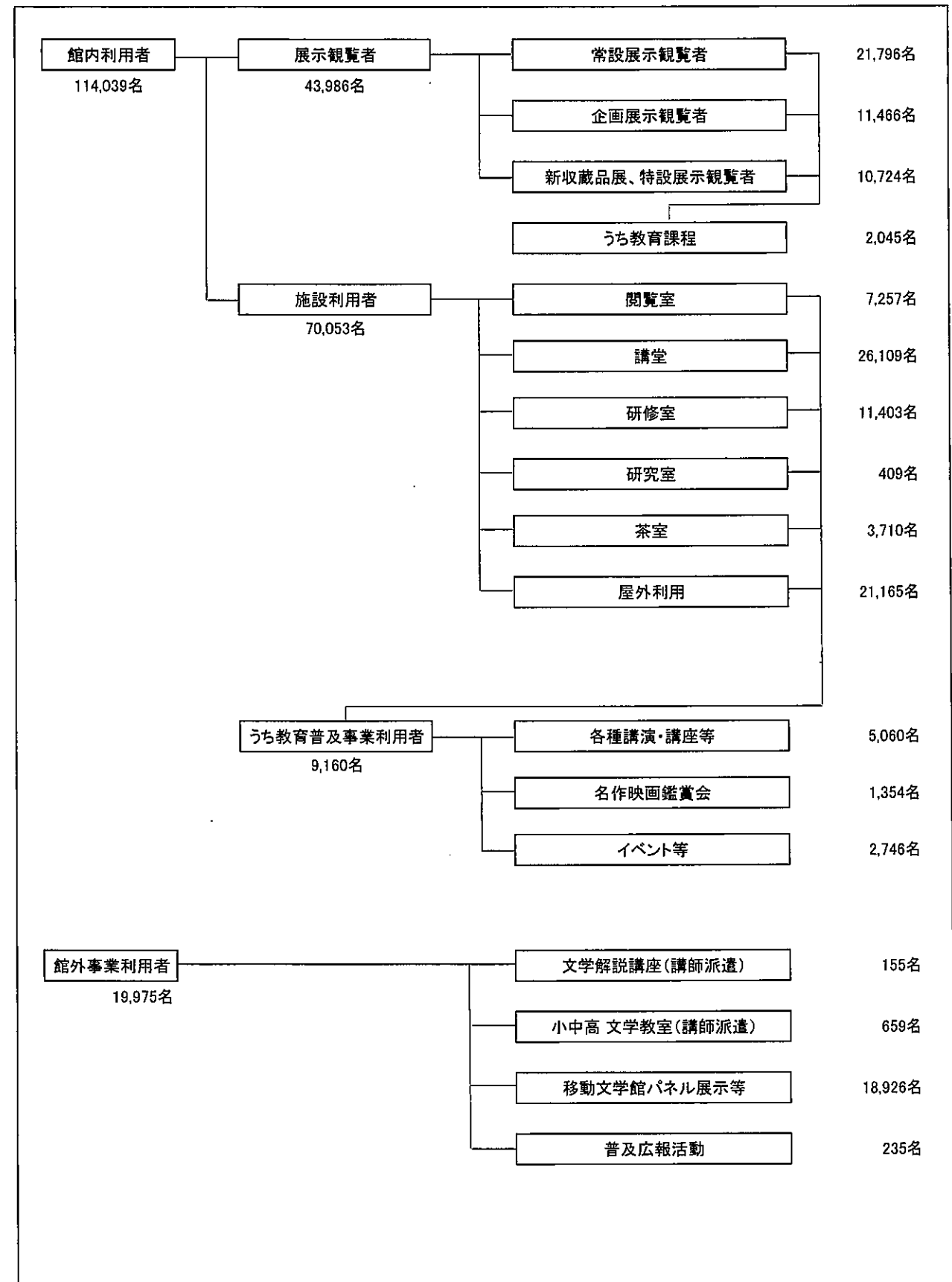
 - ・ 年間通じての常設展「近代文学の名作」(春夏秋冬で展示替え)
 - ・ 年間通じての閲覧室の資料紹介
- ⑦ 囲碁の本因坊戦対局を素心菴において実施 5月22日(水)、23日(木)
- ⑧ オリジナルブックカバーの制作
- ⑨ 冊子「山梨県立文学館 30年の記録」の制作

文学館における「利用者」の状況

平成30年度実績。()内は1月末現在



令和元年度(令和2年)1月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H元	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	306	23,749	5,620	29,369
26	308	41,209	39,356	80,565
27	310	18,763	4,758	23,521
28	306	18,358	6,315	24,673
29	304	22,121	4,121	26,242
30	303	19,736	4,698	24,434
R元	251	21,796	11,466	33,262
計	8,942	838,531	412,243	1,250,774

※令和元年度は令和2年1月末現在

令和元年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,689	65
5	27	3,793	140
6	26	2,853	110
7	26	1,326	51
8	28	2,434	87
9	25	1,783	71
10	26	2,123	82
11	26	4,733	182
12	21	554	26
1	20	508	25
2			
3			
計	251	21,796	87

前年同期比 125.0%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

合計 1,584,540名

特設展観覧者数 257,530

平成30年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,249	48
5	27	2,395	89
6	26	1,683	65
7	26	2,165	83
8	28	3,468	124
9	26	1,066	41
10	26	1,784	69
11	26	2,435	94
12	21	480	23
1	20	714	36
2	24	877	37
3	27	1,420	53
計	303	19,736	65

1月まで 252 17,439 69

新収蔵品展観覧者数 76,236

企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
H1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
2	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旅の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と「明星」	38	9,471	249
4	飯田蛇笏展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎方代展	54	6,020	111
6	中村星湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレー展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	田中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨摩の文学	93	7,939	85
9	前田晁・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の宴	56	4,757	85
10	画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と樋口一葉	56	4,951	88
13	夏目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展Ⅰ	44	4,165	95
16	樋口一葉展Ⅱ	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	57	4,214	74
19	高村光太郎 いのちと愛の軌跡	53	4,792	90
19	宮沢賢治 若き日の手紙	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎方代展	50	3,589	72
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
22	井伏鱒二と飯田龍太	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	54	4,512	84
27	俳句百景展	60	4,758	79
28	北杜夫展	59	6,315	107
29	津島佑子展	53	4,121	78
30	草野心平展	56	4,698	84
R1	宮沢賢治展	55	11,466	208
	計	2,956	412,243	139

特設展観覧者数

年度	名称	開催日数	観覧者数	一日平均
H2	「山梨と高浜虚子」	33	8,785	266
3	「辻嵐外と嵐外十哲」	33	8,996	273
3	「たけくらべの世界」	36	10,378	288
3	「映画と文学」	36	9,814	273
3	「文学者の扇面と年賀状 子規がいて、漱石がいて、さうして…」	22	2,327	106
4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	48	12,152	253
4	「佐野四郎の世界-富士見ゆる丘より」	54	6,650	123
5	「やまなしの自然と文学」	56	6,973	125
5	「五味可都里と蟹守の周辺」	53	8,648	163
5	「芥川龍之介 草稿の世界」	66	8,876	134
5	「野尻抱影 書簡の世界」	51	5,519	108
6	「歌人の手紙」	33	4,220	128
7	「やまなし文学賞の受賞者たち」	44	3,756	85
7	「中村星湖への手紙」	56	3,324	59
8	「『豹・レオパール』の詩人たち 一宮田樞夫資料より一」	24	1,861	78
8	「蛇笏山脈の人々 一西島麦南・松村蒼石・榎本虎山一」	57	3,629	64
9	「芥川龍之介の草稿」	55	5,932	108
9	「村松定孝氏収集」	32	1,274	40
10	「児童文学-山梨ゆかりの作家群-」	50	3,778	76
10	「鳴山草平資料」	23	757	33
11	「山岳関連名著展 一百瀬舜太郎コレクションより一」	41	4,202	102
12	「脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎」	34	2,019	59
12	「山梨の文芸誌-大正から昭和初期」	42	1,068	25
13	「やまなしの児童文芸 一「赤い鳥」「金の船」「金の星」「童話」を中心に一」	41	2,086	51
13	「山梨の文芸誌-戦後から現代まで-」	41	1,121	27
14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	66	4,013	61
15	山梨の農民文学	38	1,947	51
16	山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
17	山梨のアラガキ派歌人展 伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に	34	1,393	41
18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	33	4,100	124
20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	32	2,909	91
21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」-青い瞳の涙-	30	3,027	101
21	収蔵名品展 (常設展観覧料で見せた)	44	3,007	68
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	35	2,686	77
23	樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
24	フランダースの犬	33	5,034	153
24	飯田蛇笏展	53	6,553	124
24	至宝展 (国文祭関連で常設展観覧料で見せた)	54	3,490	65
25	富士山と文学	63	4,549	72
25	かいけつゾロリ展	33	8,621	261
26	本のおしゃれ展(特別コーナー-村岡花子と柳原白蓮)	34	10,309	303
27	田中冬二展 なつかしい日本の風景	50	3,695	74
27	芥川龍之介の夏休み	41	4,661	114
28	辻嵐外 甲州の近世俳人	46	2,514	55
28	宮沢賢治 保阪嘉内への手紙	47	5,367	114
29	歿後50年 山本周五郎展	45	3,920	87
29	作家のデビュー展	44	8,322	189
30	生誕120年 井伏鱒二展	45	3,916	87
30	童話の花束 子どもたちへの贈り物	39	5,242	134
R1	太宰治 生誕110年	51	7,225	142
R1	山と水の文学	39	3,263	84
	計	2,213	257,530	116

令和元（平成31）年度 企画展・特設展など(実績および)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	特設展 太宰治 生誕110年 —作家をめぐる物語—	平成31年 4月27日(土) ～ 令和元 6月23日(日)	51日間	7,225人	太宰治(1909～1948 青森県生まれ)の作品は、色褪せない魅力を放ち、今も多くの読者を得ています。その生涯は、様々な人々との関わりや出来事が織りなす物語に彩られています。第一創作集『晩年』の刊行には、友人の檀一雄の尽力と、編集者・浅見淵へ宛てた太宰の必死の懇願がありました。1939年1月の石原美知子との結婚は、井伏をはじめ、井伏の弟子・高田英之助の婚約者とその両親などの配慮により実現しました。本展では、作品だけでは窺い知ることのできない太宰をめぐる物語を、所蔵資料を中心に紹介しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 山と水の文学	令和元年 7月13日(土) ～ 8月25日(日)	39日間	3,263人	富士山、南アルプス、八ヶ岳など、豊富な水源を有する山々に囲まれた山梨県。その奥深い自然は多くの文学者たちを刺激し、優れた小説・詩歌など文学作品を生み出す重要なテーマとなってきました。本展では、山と水を主題にした文学作品をとりあげ、芥川龍之介の「暑中休暇日誌」(1908年)や飯田蛇笏「夏山や又大川にめぐりあふ」軸装、小島烏水の序文を付す茨木猪之吉「甲斐のやま山」画帖などのほか、県内の山岳写真パネルを展示しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 宮沢賢治展 ようこそイーハトーブの世界	令和元年 9月21日(土) ～ 11月24日(日)	56日間	11,466人	日本文学史の中で詩、童話に独自の世界を切り開き、現在も多くの愛読者を持つ宮沢賢治(1896～1933)。宮沢賢治は故郷岩手を「イーハトーブ」と呼び、理想郷として作品に描いています。そこには、故郷への愛着とともに、すべての生命を尊び共存を目指そうとする理想が映し出され、現代への普遍的な問いがこめられています。本展では、賢治の遺した詩、童話や山梨の友人保阪嘉内宛の手紙など約120点の資料により、作品の魅力や、賢治の掲げた理想の世界を紹介しました。	自主企画
4	新収蔵品展 作家のエピソード	令和2年 1月25日(土) ～ 3月22日(日)	50日間	— 人	令和元年に当館で新たに収蔵した、高浜虚子の句幅、芥川龍之介の句稿、飯田蛇笏の句短冊、井伏鱒二の手紙、太宰治の原稿など、約70点の資料をご覧いただけます。文学作品や文学者の手紙などが書かれた背景にある様々なエピソードとともに、資料を紹介しています。	自主企画 ・観覧料無料で公開

令和2年度 企画展・特設展（予定）

	展覧会名	会期	日数	内 容	備 考
1	特設展 飯田龍太展 生誕100年	令和2年 4月25日(土) ～ 6月21日(日)	51日間	戦後を代表する俳人・飯田龍太(1920～2007 笛吹市境川町生まれ)の生誕100年を記念して開催します。当館の収蔵の直筆の書や句稿、愛用の品々などによって作品と人物の魅力を紹介します。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 文学の中の富士山	令和2年 7月18日(土) ～ 8月23日(日)	33日間	富士山は、詩歌や散文などの文学作品に、数多く描かれてきました。芥川龍之介が旧制第一高等学校時代に書いた作文、中村星湖の小説、草野心平の詩と絵画など、文学作品に登場する様々な富士山の姿を、当館収蔵資料により紹介します。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 林真理子展	令和2年 9月12日(土) ～ 11月23日(月・祝)	56日間	本県出身の直木賞作家・林真理子(山梨市生まれ)の初の展覧会。1982年に初めてのエッセイ集『ルンルンを買っておうちに帰ろう』がベストセラーに。1986年に直木賞を受賞し、その後も、現代社会を鋭い切り口で描いた小説や、歴史に取材した長編小説など、多彩なテーマと巧みな語り口で、次々に作品を発表しています。文壇の第一線で活躍を続ける、林真理子の活動と作品の魅力を取りあげます。	自主企画
4	新収蔵品展	令和3年 1月23日(土) ～ 3月21日(日)	50日間	令和2年に新たに収蔵した資料を展示。	自主企画 ・観覧料無料で公開

1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展

企画展「宮沢賢治展ようこそイーハトーブの世界へ」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
9月21日	講演会「カンパネララのスケッチ帖」	長野まゆみ (作家)	246
9月28日	講座「資料が語る宮沢賢治」	中野和子 (当館学芸員)	87
10月5日	講演会「宮沢賢治への問い」	赤坂憲雄 (民俗学者・学習院大学教授)	151
11月3日	講演と演奏「賢治作品の奏でる音楽」	宮沢和樹 (林風舎 代表取締役) 宮沢やよい 宮沢香帆	398
11月16日	対談「宮沢賢治 短歌・俳句の世界」	石寒太 (俳人) 今野寿美 (歌人)	231
11月23日	講演会「宮沢賢治の文学的表現行為- (本統に一切を肯定する) ために-」	栗原敦 (実践女子大学名誉教授)	131
合計			1,244

(2) 特設展

特設展「太宰治展生誕110年-作家をめぐる物語-」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
6月15日	講演会「太宰治・著書と資料をめぐって」	安藤宏 (東京大学教授) 川島幸希 (秀明大学学長)	223
合計			223

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講 師	事業名・演題	月 日	人 数
鈴木武晴	年間文学講座1 (全8回) 講堂 「日本文学と富士山-古典を中心に」 14:00~90分	5月10日	116
長瀬由美		6月7日	121
佐藤明浩		7月12日	79
加藤敦子		8月9日	102
寺門日出男		9月13日	57
都留文科大学教授5名によるリレー講座		10月4日	63
		11月1日	58
		1月10日	53
小計			649
大木志門	年間文学講座2 (全8回) 講堂 「いま『文豪』の作品を読みなおす-伝記と代表作の関係」 14:00~90分	5月30日	93
山梨大学大学院総合研究部教育学域人間科学系准教授		6月20日	88
		7月18日	80
		8月15日	71
		9月19日	70
		10月17日	103
		11月21日	87
		12月19日	92
小計			684
保坂雅子	年間文学講座3「山梨の文学」	6月2日	88
高室有子		7月28日	76
中野和子		9月28日	87
小計			251
合計			1,584

(2) 教師のための学習会

月 日	題 名	情 報	参加人数
6月19日	特設展 先生のための学習会①		8
10月10日	企画展 先生のための学習会②		16
合計			24

(3) チャレンジクイズ

クイズ名	参加人数
チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」	785
文学の柱	357
企画展チャレンジクイズ	318
特設展チャレンジクイズ	440
合計	1,900

(4) 名作映画観賞会

月日	題名	情報	参加人数
5月26日	(特設展関連上映) 真白き富士の嶺	1963年 原作 太宰治 監督 森永健次郎 出演 吉永小百合 浜田光夫	250
6月22日	狂った果実	1956年 原作 石原慎太郎 監督 中平康 出演 北原三枝 石原裕次郎	199
7月20日	アニメ「フランダースの犬」	2015年 日本アニメーション 原作 ウィーダ	103
8月11日	アニメ「トムソーヤの冒険」	2015年 日本アニメーション 原作 マーク・トウエイ	85
9月23日	(企画展関連上映) 風の又三郎	1940年 原作 宮沢賢治 監督 島耕二 出演 片山明彦 中田弘二	237
10月14日	蒲田行進曲	1982年 原作 つかこうへい 監督 深作欣二 出演 松坂慶子 風間杜夫	200
11月9日	砂の器	1974年 原作 松本清張 監督 野村芳太郎 出演 丹波哲郎 加藤剛	280
合計			1,354

(5) 朗読講演会

月日	事業名 演題	講師	参加人数
12月14日	オペラシアターこんにゃく座公演 タンゲーまほうをかけた舌	こんにゃく座	308
合計			308

(6) 文学創作教室

月日	事業名 演題	講師	参加人数
5月18日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	20
6月1日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
9月7日	三枝昂之短歌講座	三枝 昂之	34
11月16日	対談「宮沢賢治 短歌・俳句の世界」	石 寒太・今野 寿美	231
12月21日	三枝浩樹短歌講座	三枝 浩樹	33
12月15日	三枝浩樹短歌講座	三枝 浩樹	42
合計			381

(7) ワークショップ

月日	事業名 演題	講師	参加人数
4月27日	大人のための初心者俳句ワークショップ	井上康明	25
5月11日	「富岳百景」スノードームをつくろう	穂坂優	20
7月21日	山と水からいただく色草木で和紙葉書を染めよう	藤井蘭子	19
7月16日	夏休み自由研究プロジェクト		150
7月30日	あなたの心を鏡開き！太神楽の世界を体験しよう	丸一仙三・仙花	28
1月11日	新春小学生百人一首教室	竜王かるた会	48
合計			290

(8) ジュニアインターンシップ・職場体験学習

月日	学校名	情報	参加人数
7月30日	農林高校		1
合計			1

(9) 学芸員実習

月日	学校名	情報	参加人数
7月14日	東京女子大学		1
7月14日	都留文科大学		4
合計			5

(10) 文学解説(展示解説、視察対応)

月日	対象名・講座名等	対象者	参加人数
4月5日	都留文科大学国文科オリエンテーション	都留文科大学学生	144
6月18日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院映東教室	18
7月30日	山梨県学校図書館教育研究会	県下小中学校教職員	150
8月3日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院中北教室	25
8月7日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院映南教室	25
8月7日	北巨摩地区国語研究会	北巨摩地区小中教員	10
8月20日	甲府市区書館司書研究会	甲府市学校司書、司書教諭	64
10月1日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院甲府教室	59
11月13日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院南・北都留	22
11月23日	近代人物館講座	一般市民	45
12月8日	山梨県図書館教育研究会読書感想文表彰式	県下小中学生・保護者・教職員	30
合計			592

(11) 山梨の文学解説講座（他会場への講師派遣事業）

月 日	講 座 名	対 象 者	参加人数
6月25日	文学に描かれた甲府（太宰治）	藤村学校	70
8月7日	北巨摩地区国語教育研究会	北巨摩地区小中学校教員	8
10月16日	近代人物館講座	一般市民	15
10月19日	山梨ゆかりの文学者	山梨県庁別館	15
11月21日	市川三郷町アカデミー講座	市川三郷町民	20
1月23日	だれでも簡単に、すぐ作れる短詩（韻文系）	県立図書館	75
合計			203

(12) 小・中・高等学校文学教室（出前授業）

月 日	学校名（内容）	対 象 者	参加人数
5月15日	富士河口湖高校	1年生	187
5月17日	城西高校	2年生	36
6月11日	御坂西小学校	4年生	81
6月12日	明野放課後子ども教室	明野小学生	33
6月26日	中央高等学校	中央高等学校午前・午後・夜間部	110
8月7日	増穂中学校	図書委員会	25
8月28日	大泉放課後子ども教室	泉小学生	33
9月4日	武川放課後子ども教室	武川小学生	20
9月5日	甲陵中学校	2年生	40
10月2日	長坂放課後子ども教室	長坂小	76
10月4日	笛川中学校	中学校図書集会	102
10月17日	甘利小学校	6年国語	78
2月5日	市川南中学校		23
合計			844

(13) 小・中・高等学校教育課程対応（展示解説）

月 日	内 容	対 象 者	参加人数
4月11日	校外学習	鯉沢中2年	4
4月24日	校外学習	市川中2年	4
4月25日	校外学習	身延中2年	16
5月8日	校外学習	韭崎東中2年	4
5月14日	校外学習	西柱中2年	4
5月15日	校外学習	甲西中2年	3
5月16日	校外学習	櫛形中2年	17
5月16日	校外学習	高根中2年	8
5月16日	校外学習	田富中2年	12
5月16日	校外学習	普蓮土学園	5
5月16日	校外学習	櫛形中2年	4
5月17日	校外学習	城西高校1年	146
5月17日	校外学習	田富中2年	9
5月17日	校外学習	上野原西中2年	33
5月17日	校外学習	竜王中2年	4
5月23日	校外学習	白州中2年	4
5月24日	校外学習	城西高校1年	38
5月31日	校外学習	中央高2年	81
6月12日	校外学習	富士河口湖高1年	191
6月12日	校外学習	吉田高1年	16
7月9日	校外学習	荒川区立四中	86
8月20日	校外学習	明見中美術部	47
10月3日	校外学習	三珠中	4
10月24日	校外学習	明野小5年	32
10月31日	校外学習	猿橋中2年	29
11月8日	校外学習	甲斐清和高	50
11月12日	校外学習	甲府昭和高1年	89
11月13日	校外学習	甲府昭和高1年	90
11月13日	校外学習	山梨学院中1年	99
11月14日	校外学習	甲府昭和高1年	89
12月11日	総合学習	甲府西高1年	26
1月31日	総合学習	新田小3年	28
2月5日	総合学習	新田小5年	29
2月26日	国語学習	甲府看護専門学校	26
3月3日	総合学習	新田小4年	16
合計			1,343

(14) 小・中・高等学校移動文学館（アウトリーチ）

月日	利用学校名	セット	対象人数
4月12日	鯉沢中学校	D	87
4月12日	中央高校	C	700
4月16日	大月東中	A	248
4月16日	七保小	D	79
4月26日	中央高校	C	700
4月26日	中央高校	D	700
4月26日	鯉沢中	A	87
4月26日	増穂中	D	338
5月14日	七保小	A	79
5月14日	大月東中	C	248
5月14日	猿橋小	D	345
5月24日	鯉沢中	B	87
5月24日	増穂中	A	338
5月24日	中央高校	A・D	391
5月29日	大月東中	D	248
5月29日	七保小	C	79
5月29日	猿橋小	E	345
5月29日	猿橋中	A	294
6月14日	市川南小	C	81
6月18日	浅川中	D	359
6月21日	大月東小	D	274
6月21日	猿橋中	A	294
6月21日	猿橋小	C	345
6月25日	玉穂中	B・F	428
6月29日	市川南中	E	81
6月29日	増穂中	C	605
6月29日	双葉東小	A	726
7月2日	上条中	A・B	358
7月9日	玉幡中	B・F	428
7月9日	浅川中	A	359
8月27日	城西高	F	846
9月6日	櫛形中	C	637
9月6日	双葉東小	D	726
9月10日	甲府西高	F	774
10月1日	白州中	F	78
10月2日	池田小	D	497
10月2日	国母小	E	410
10月4日	浅川中	C	358
10月4日	笛川中	D	102
10月11日	甘利小	D	440
10月16日	国母小	B	410
10月16日	身延中	F	203
10月25日	奥野田小	D	139
10月25日	竜王北小	D	460
10月30日	市川高	F	475
11月8日	浅川中	B	358
11月13日	敷島中	F	522
11月26日	市川南小・中	D	81
11月26日	山梨大学付属中	F	493
12月11日	浅川中	F	358
1月10日	大月東中	F	248
1月24日	猿橋中	F	294
合計			5,848

利用教材 A：石川啄木セット B：龍太・蛇笏のちまこ人形セット C：花子とアン D：賢治と嘉内の友情セット E：芥川龍之介の夏休みセット F：文豪ストレイドッグスセット

(15) 外部共催研修

月日	企画名	対象者	利用人数
7月30日	総合教育センターとの共催研修	小中・特別支援学校教員	6
合計			6

(16) 各種団体への普及活動

月日	普及内容	対象者	利用人数
5月14日	南都留地区校長会	学校長	43
5月14日	笛吹地区校長会	学校長	19
5月15日	北巨摩地区校長会	学校長	25
5月16日	峡南地区校長会	学校長	28
6月1日	高等学校国語部会	高等学校国語科教員	44
6月6日	中巨摩地区校長会	学校長	50
6月11日	甲府地区校長会	学校長	39
6月18日	東山梨地区校長会	学校長	18
6月25日	北都留地区校長会	学校長	40
合計			306

(17) 協力会読書会

月日	作品	対象者	利用人数
5月19日	藤原正彦「ヒコベエ」		7
6月9日	太宰治「人間失格」		8
7月7日	芥川龍之介「河童・或阿呆の一生」		9
8月11日	三島由紀夫「花ざかりの森・憂国」		7
9月8日	足立絵莉「ログアウト」		6
10月13日	宮本輝「錦織（きんしゅう）」		6
11月10日	ツルゲーネフ「はつ恋」		8
12月8日	林真理子「葡萄が目にしみる」		7
1月12日	ヘルマン ヘッセ「車輪の下」		8
2月9日	山本周五郎「おごそかな渴き」		
3月8日	芥川賞受賞作2作（第161回&162回）		
合計			66

3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して、山梨県の文学振興を

はかり、日本の文化発展の一助とするために創設された。小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門：坂上弘・佐伯一麦・長野まゆみ
研究・評論部門：中島国彦・関川夏央・兵藤裕己

小説部門応募者数……………309

研究・評論部門応募者数…115

合計 424

令和2年度実施予定教育普及事業の概要

事業名	事業説明
年間文学講座	年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう調整する。多くの方が参加できるように、平日のみならず、土・日も開講する。
山梨の文学講座	「山梨の文学講座」は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの文学と人についての講座を実施し、当館学芸員が講師を務める。
名作映画鑑賞会	有名な文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて、多くの県民とともに考える企画。平成2年から毎年実施。
朗読鑑賞会	県内外から講師を招聘し、文学作品(詩・小説など)の魅力を朗読によって鑑賞する企画。開館の年から実施し、毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。
山梨の文学解説講座	学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者の人と作品を紹介する講座。要望に応じ当館の研修室・講堂等あるいは市町村等に出向いて講義をする。
博学連携事業	将来の山梨を担うことになる子どもたちに、優れた文学と文学者の存在に気付かせるきっかけを作ることを目的に、学校教育と連携し、文学館作成の指導資料を学校に貸し出す「アウトリーチ」、「出前授業」、校外学習へのサポート、高校生を対象とした「文学創作教室」等を実施する。
就業体験(インターンシップ)	子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが、今日的課題となっている。文学館としても、中学生・高校生・大学生の職場見学やインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。
教師のための学習会開催	県内の小・中・高校・特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展・特設展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、学校教育への活用を図る。
子どもワークショップ	子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じてもらう機会とする。各界で活躍する専門家を招くことで、子どもたちの多彩な分野での興味を広げていく。

令和元(平成 31)年度 資料情報課事業実施状況

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
太宰治を読む 特設展「太宰治 生誕 110 年 (仮称)」にあわせて、太宰治の『人間失格』や『斜陽』などの代表的な作品や、『富嶽百景』など山梨ゆかりの作品、関連資料などを紹介する。	平成 31 年 4 月 27 日 (土) ~ 令和元 6 月 23 日 (日)
山と水に遊ぶ 特設展「山と人の文学 (仮称)」にあわせて、山や川、湖や温泉などの自然に親しみ、その風景を作品世界に綴った文学者たちの著作を紹介する。	令和元年 7 月 13 日 (土) ~ 8 月 25 日 (日)
宮沢賢治の世界 企画展「宮沢賢治展 (仮称)」にあわせて、宮沢賢治による童話や詩などの著作や、宮沢賢治作品の研究書、宮沢賢治ゆかりの人々に関する資料などを紹介する。	令和元年 9 月 20 日 (金) ~ 11 月 24 日 (日)
探偵小説の時代 大正から昭和戦前期にかけて、江戸川乱歩や木々高太郎ら多くの探偵小説家が活躍した。探偵小説作品や、雑誌『新青年』、探偵小説雑誌など関連資料を紹介する。	令和 2 年 2 月 7 日 (金) ~ 4 月 5 日 (日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
飯田蛇笏 (4月26日生まれ)	平成31年 4月19日(金) ~ 5月9日(木)
徳永寿美子 (9月24日生まれ)	令和 元年 9月13日(金) ~ 10月3日(木)
八木義徳 (10月21日生まれ)	令和 元年10月18日(金) ~ 11月7日(木)
石原八束 (11月20日生まれ)	令和 元年11月15日(金) ~ 12月5日(木)
檀 一雄 (2月3日生まれ)	令和 2年 1月31日(金) ~ 2月20日(木)
芥川龍之介 (3月1日生まれ)	令和 2年 2月28日(金) ~ 3月19日(木)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇改元関連資料紹介

「山梨の文学者と万葉集」 平成 31 年 4 月 9 日 (火) ~ 4 月 25 日 (木)

◇開館 30 周年記念本因坊戦(5/22・23)関連資料紹介

「囲碁と作家」 令和元年 5 月 15 日 (水) ~ 6 月 5 日 (水)

◇食育推進全国大会inやまなし(6/29・6/30)関連資料紹介

「文学者の食卓」 令和元年 6 月 14 日 (金) ~ 7 月 15 日 (月)

◇クリスマス関連資料紹介

「クリスマスのお話」 令和元年 12 月 6 日 (金) ~ 12 月 25 日 (水)

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

第 1 回 令和元年 6 月 8 日 (土) 参加者 30 名

第 2 回 同 11 月 20 日 (水) 県民の日 参加者 50 名

午前・午後各 1 回

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

単位:件 (R2.1.31現在)

	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数
平成29年度	304	8,109	106	440	1,895	801	4,122	0	1,734	544
平成30年度	303	6,988	99	383	1,503	664	3,256	0	1,417	492
令和元年度	252	7,257	89	310	2,031	829	3,694	0	925	684

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (R2.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成29年度	542	650	689	976	1,126	620	577	960	384	400	555	630	8,109	27
平成30年度	532	630	668	662	1,055	444	553	667	321	308	528	620	6,988	23
令和元年度	599	982	808	467	618	740	801	1,546	324	372			7,257	29

調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (R2.1.31現在)

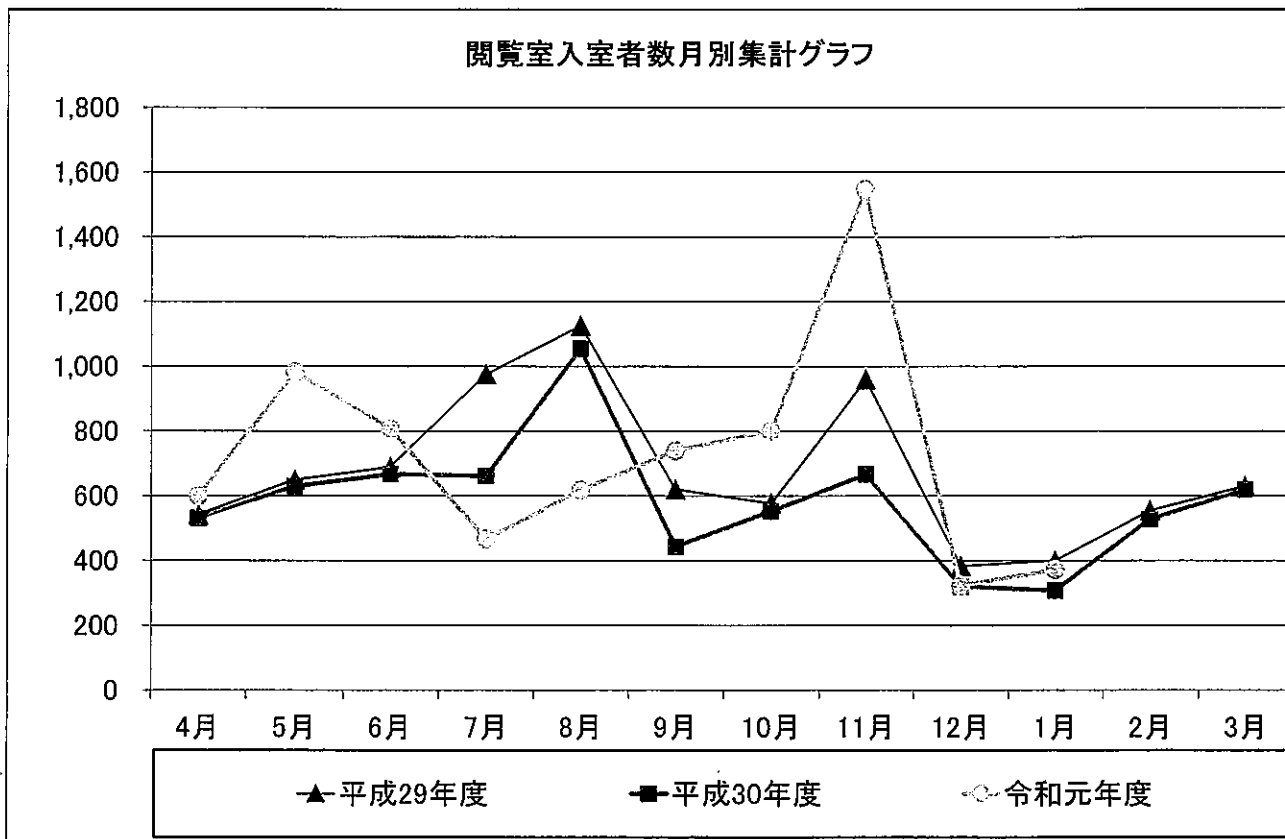
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成29年度	40	63	119	54	76	76	73	73	38	64	69	56	801	3
平成30年度	68	59	71	57	68	49	52	42	50	28	60	60	664	2
令和元年度	62	86	102	64	89	86	83	145	66	46			829	3

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (R2.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成29年度	224	222	400	364	745	441	145	106	18	220	681	556	4,122	14
平成30年度	323	149	91	79	181	381	248	124	264	73	499	844	3,256	11
令和元年度	564	484	449	48	525	180	148	1,029	47	220			3,694	15

閲覧室入室者数月別集計グラフ



令和2年度 資料情報課事業計画

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
飯田龍太の世界 特設展「飯田龍太展 生誕 100 年 (仮称)」にあわせて、飯田龍太の句集や随筆などの代表的な作品や、父・蛇笏から主宰を継承した「雲母」や龍太関連資料を紹介する。	令和 2 年 4 月 25 日 (土) ～ 6 月 21 日 (日)
富士北麓をめぐる文学 特設展「文学の中の富士山 (仮称)」にあわせて、富士北麓の自然に親しみ、その風景を作品世界に綴った文学者たちの著作を紹介する。	令和 2 年 7 月 18 日 (土) ～ 8 月 23 日 (日)
林真理子を読む 企画展「林真理子展 (仮称)」にあわせて、林真理子の小説や随筆、テレビドラマの原作などの著作や、林真理子作品に関連する資料などを紹介する。	令和 2 年 9 月 11 日 (金) ～ 11 月 23 日 (月)
文学に描かれた天災 大地震、火山噴火、豪雪、洪水などの天災と、人びとはどう向き合い、どう対応し、どうのり越えて来たかのかを文学作品を通して紹介する。	令和 3 年 2 月 5 日 (金) ～ 4 月 4 日 (日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
土橋治重 (4月25日生まれ)	令和2年4月17日(金)～5月8日(金)
太田黒克彦 (7月1日生まれ)	令和2年6月26日(金)～7月16日(木)
望月百合子 (9月5日生まれ)	令和2年8月28日(金)～9月17日(木)
竹内てるよ (12月21日生まれ)	令和2年12月4日(金)～12月24日(木)
武田泰淳 (2月12日生まれ)	令和3年1月29日(金)～2月18日(木)
深田久弥 (3月11日生まれ)	令和3年3月5日(金)～3月25日(木)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

第1回 令和2年 6月 6日(土)

第2回 同 11月20日(金) 県民の日
午前・午後各1回

令和元年度 下半期文学館協議会

令和2年2月20日
山梨県立文学館 指定管理者
SPS・桔梗屋・KBS共同事業体

目次

- ▶ 1. 指定管理第3期（4年間）の運営方針
- ▶ 2. 新たな魅力の発掘と発信
 - ① 展覧会観覧誘致のための広報活動
 - ② 観光資源としての魅力アピール
- ▶ 3. 地域連携を通じ文化芸術を拡げる
 - ・賑わいの創出による地域の活性化
- ▶ 4. 安心・安全な施設の維持管理
 - ・安定した施設管理
- ▶ 5. 令和2年度上半期に予定している活動

1. 指定管理第3期の運営方針

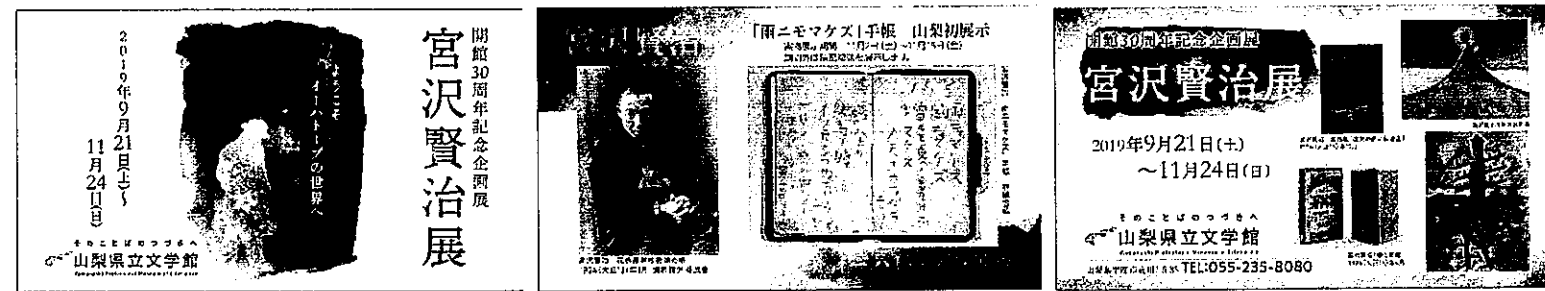
- 施設の新たな魅力の発掘と発信
観光資源としての魅力をアピール
県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進
- 地域連携を通じ文化芸術を拡げる
地元企業や団体等との強固な関係構築
賑わいの創出による地域の活性化
- 安心・安全な施設管理の強化
施設維持管理会社が共同事業体へ参画
効果的・効率的で安定した施設管理

指定管理者活動トピックス

2-① 展覧会観覧者誘致のための広報活動

開館30周年記念企画展「宮沢賢治展」 TVCMを用いた広報

宮沢賢治展では、宮沢賢治のネームバリューを生かし、テレビCMを放送することで県民へ展覧会を告知した。CMはテレビ山梨で作成。チラシのデザインを用いることで、展覧会イメージの統一をはかった。



テレビCM 15秒/回

指定管理者活動トピックス

2-① 展覧会観覧者誘致のための広報活動



- ・開館記念日 紅白もち配布 (11月3日)
- ・UTYアナウンサーによる朗読会開催 (10月26日)
- ・サンド・アート イベント開催 (11月17日)

文学館開館30周年に際し県内外のお客様に来館いただくために、年齢を問わず楽しんでいただける企画を展開した。11月3日の開館記念日には紅白もちを配布し、記念日を一緒にお祝いいただいた。10月はUTYアナウンサーによる賢治作品の朗読会を、11月には銀河鉄道の夜をテーマにサンドアートを鑑賞いただいた。



指定管理者活動トピックス

2-① 展覧会観覧者誘致のための広報活動

観覧者数：11,446人 (予比161%)

企画展「宮沢賢治展」観覧者数 1万人を突破！ (11月22日)

開館30周年記念の企画展のため、TVCM、特別版のチラシ製作、紅白もち配布、作品をイメージした事業展開などさまざまな取組みをしたことにより、1万人を超える来館者を迎えることができた。1展覧会で1万人超は平成26年に開催された村岡花子展以来のため、閉幕2日前ではあったが記念セレモニーを行い、取材も2件獲得。最後の集客に繋がった。

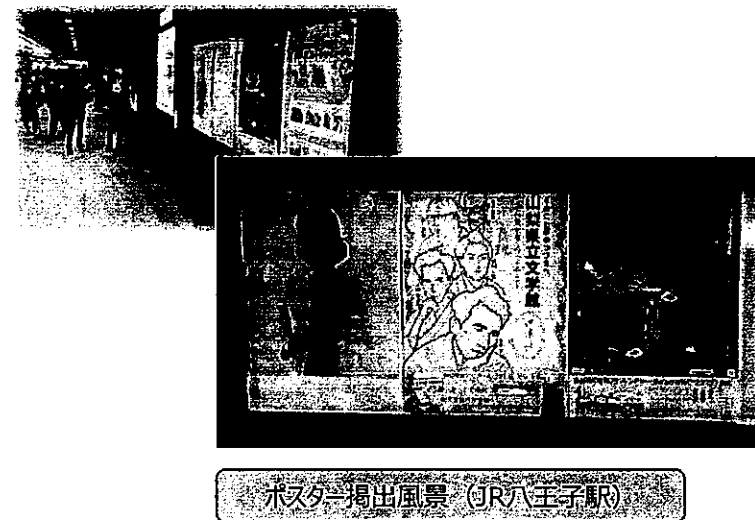


指定管理者活動トピックス

2-② 観光資源としての魅力アピール

文学館PRポスター JR120駅に掲示 (10月24日~30日)

開館30周年を機にあらためて認知度を高め、県外から集客することを目的として、東京・神奈川・千葉・埼玉・静岡・栃木の1都5県のJR約120駅にポスターを掲出した。文学館が資料等を所蔵する文学者たちをイラスト化し、文学館のキャッチコピーを入れ、旅行者へ印象づけるデザインを意識した。



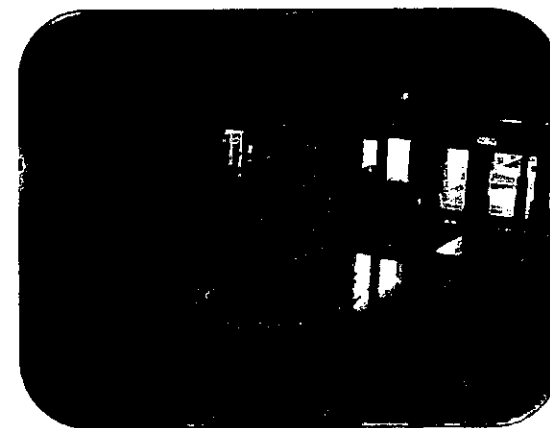
ポスター掲出風景 (JR八王子駅)

指定管理者活動トピックス

3-① 賑わいの創出による地域の活性化

クリスマス・ワークショップ開催 (11月30日~12月25日)

来館者が少なくなる12月のお客様誘致策のひとつとして、館内にクリスマスツリーを設置した。飾り付けはサンタや雪の結晶等が描かれた台紙に色を着けたり、シールやマスキングテープでデコレーションを施すなど、オリジナルオーナメントを作成するワークショップを実施し、お客様に楽しんで頂いた。飾り付け後は、記念に写真撮影をする姿も多く見られた。また、期間中には新田小学校1・2年生30名が訪れ飾り付けを楽しんでいただいた。(ワークショップ参加数：文学館353枚)



指定管理者活動トピックス

3-① 賑わいの創出による地域の活性化

貝民の日 イベント開催 (11月20日)

・貝民の日は、お子様向けに「芸術の森茶会」、「エレ/宮沢治 ぬりえコーナー」等を企画した。なかでも「射的ゲーム」「バルーンアートプレゼント」への参加は、美術館か文学館の展示室を回るスタンプラリーの達成を必須とし、展示室への誘導を図った。この日イベント参加者も含めると、延べ9,000人を越えるお客様に来院いただき秋の1日を楽しんでいただいた。



ミュゼ・マルシェ開催

(11月30日、12月1日)



・今年は「クリスマス」をテーマに開催した。県内の飲食店や雑貨店、体験型ワークショップなど約100店舗に出展いただき、公園が華やいだ雰囲気に包まれた。事前にテレビ山梨「ウツェタウン6丁目」で告知をした他、NHKでもワークショップの紹介をしていただいた効果もあり、2日間で約14,500人の来場者で賑わった。

指定管理者活動トピックス

3-1 賑わいの創出による地域の活性化

・お正月イベント2020の開催 (1月2日・3日)

・芸術の森茶会'初釜'開催 (1月5日)

・初の試みとしてお正月イベントを開催した。「昔のおもちゃコーナー」と題して、コマや福笑い、紙相撲、かるた等で遊んでいただけるコーナーを設けたり、羽子板の貸し出し、チケットをお持ちの方に紙風船をプレゼントするなどした。2日間で238名の皆様にご参加いただいた。

・茶室「素心庵」にて「初釜」を実施した。午前中には定員の80名に達する盛況振りだった。参加者はお茶とお菓子を楽しみつつ、大日本茶道学会による解説に熱心に耳を傾けていた。【参加者数】93名(定員：80名)



昔のおもちゃコーナー(文学館2階ロビー)



芸術の森茶会 初釜 (素心庵)

指定管理者活動トピックス

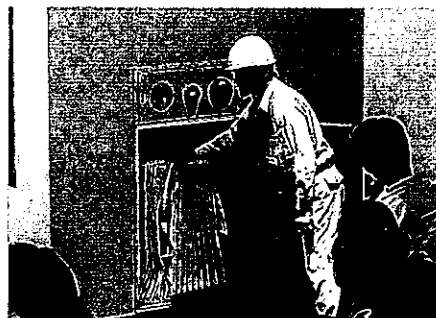
4-① 安定した維持管理

文学館・美術館 両館合同防災訓練の実施 (10月8日)

閉館後の時間を利用し、美術館・文学館の県職員、指定管理者の合同で震度6の地震が発生したことを想定した避難訓練を実施した。終了後は消火栓の仕組みや使用方法、消火器の使用等、初期消火活動に対する研修を行い、自館の防災設備と自衛行動について全体で確認し合った。次回の避難訓練の内容について、積極的な意見も挙がっており、今後、さまざまな角度から防災について考え、行動できるようにするための訓練を検討していく。



避難誘導するスタッフ



消火栓について設備担当から説明を受けている様子



指定管理者活動トピックス

4-① 安定した維持管理

台風19号対応 (10月11日、12日)

非常に強い大型台風19号が10/12に関東地方直撃の情報を受け、前日から敷地内を巡回し、のぼり旗や看板類、傘立てなど屋外にあるものを風雨の影響を受けない場所に避難させた。これらの備品は台風や大雪などの際に対応すべき内容のチェックリストを作成し、リストに沿って避難～復旧までを行った。今後、このチェックリストの内容をさらに充実させていく。

また、10/12は開館時間直前に臨時休館が決定。ホームページやフェイスブックへ休館のお知らせを掲載するとともに、両館の入口にも張り紙を貼るなど、可能な限りの手段を使って、休館告知を行った。

館内外ともに、この台風による大きな被害はなかった。

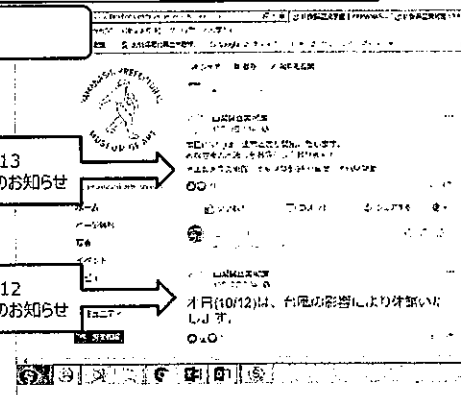
台風対応一覧 (チェックリスト)

項目	内容	実施状況	担当者
1	看板類の点検	完了	〇〇
2	のぼり旗の点検	完了	〇〇
3	傘立ての点検	完了	〇〇
4	屋外備品の点検	完了	〇〇
5	その他	完了	〇〇

Facebook

10/13
通常開館のお知らせ

10/12
臨時休館のお知らせ



指定管理者活動トピックス

5 令和2年度上期に予定している活動



イメージ画像

広報・自主事業

- ▶ 吊るし雛展示 (3月)
- ▶ 落語ぶんがく亭
柳家喬太郎独演会 (3月12日)
- ▶ 旅行誌「るるぶ山梨」への広告掲載
.....
- ▶ 龍太一句
- ▶ 龍太茶会
- ▶ こいのぼりワークショップ
- ▶ セタワークショップ (7月)

終わり